

第68回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年4月23日（月） 14：00－15：10

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、山崎委員

(2) 政府側

和泉内閣総理大臣補佐官

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、行松審議官、佐藤参事官、須藤参事官、高倉参事官、滝澤参事官、山口参事官

総合海洋政策推進事務局 羽尾事務局長

4. 議事要旨

(1) 宇宙ビジネスを支える環境整備に関する論点整理タスクフォースにおける検討状況について
宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

(以下、○委員からの意見、質問、●事務局からの回答)

○ 宇宙資源開発については、何らかの制度整備を行うということによいか。

● 現時点では、タスクフォースの中でまさに議論を行っているところである。近く、タスクフォースで方向性を出す予定である。

○ 政府補償の検討にあたっては、月面での衝突事故まで想定されているが、軌道上での衝突や地上落下事故に比べると、蓋然性が低いのではないか。

(2) 宇宙基本計画の工程表改訂に向けてについて

宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

(以下、○委員からの意見、質問、●事務局からの回答)

○ 宇宙科学予算の確保に向けて、具体的にどのような検討を行っていくのか。

● 財務当局に対して、宇宙科学予算の意義・必要性をしっかりと説明し、それらを明確にしていくためには、どうしたらよいか、といったことについて検討を進めていく。

(3) 新たな海洋基本計画の検討状況について

総合海洋政策推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

(以下、○委員からの意見、質問、●事務局からの回答)

- 今後は、衛星データと地上データを組み合わせていくような動きがある中、海洋情報の利用はどの程度進んでいるか。
 - 安全保障などの分野で海洋情報と衛星データを組み合わせた利用が進んでいる。また、民間向けなどには、海上保安庁のシステムを通じて、海洋情報の提供を行っている。
- (4) 準天頂衛星の今後の展開について
宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。

以上